

# 議会だより みなかみ

町民一体となって  
この難局を乗り越えよう

令和2年(2020年) 62号  
4月15日発行

## 3月定例議会

特集	2
本会議審議内容及び結果	4
一般質問	8
この町あるある	16

## 特集

未来へつなぐ  
予算を可決



バックナンバー  
が見られます。

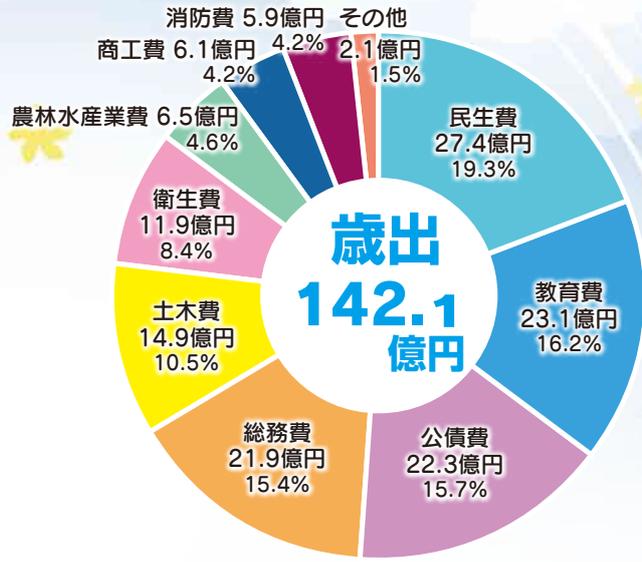
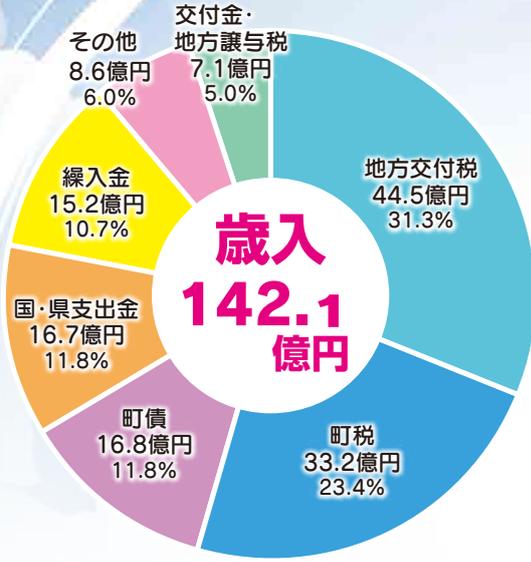


群馬県利根郡みなかみ町

表紙写真：待ちわびて咲く（フォトコンテストより）

# 未来へつなぐ予算を可決

一般会計 142億1,000万円 (前年度比 3.9% 増)



国民健康保険特別会計	24億2,200万円 (2.0% 減)
後期高齢者医療特別会計	2億9,900万円 (5.3% 増)
介護保険特別会計	28億5,500万円 (5.4% 増)
下水道事業特別会計	8億2,900万円 (2.5% 減)
水道事業会計	5億8,600万円 (4.1% 減)

## 令和2年度注目事業

### 教育費

### ICT<sup>※1</sup>を活用した教育環境の整備

※1 ICT・インターネットなど通信技術を利用した産業やサービスなどの総称。

4年をかけ学校における高速大容量のネットワーク環境（校内LAN）整備と、義務教育段階において全学年の児童生徒が1人1台タブレット等を持ち、十分に活用できる環境の実現を目指します。

町の将来は何よりも人材にかかっています。この事業により、多様な子どもたちに応じた個別最適化学習の環境が整備され、資力・能力を一層確実に育成できる学校教育が実現できると期待されます。

学校情報通信ネットワーク  
環境施設整備事業及び  
公立学校情報機器整備事業



予算 **1億1,210万円**



## 民生費

## 子育てしやすい環境をつくる

### 学童クラブ整備事業



現在の月夜野学童クラブのようす。  
利用者が定員(65人)を超えるときもあるそうです。

令和3年度の開所を目指し、  
テレワークセンター(旧月夜野  
幼稚園)の一部を改修して学童  
クラブを整備します。

町で行ったアンケート結果で  
は、子育て世帯の共働きの率が高  
く、少子化による児童数の減少  
を考慮しても、今後の学童クラ  
ブ利用希望者は増加する傾向に

あると考えられます。  
この事業は、現在行われてい  
る入会制限の解消や、放課後の児  
童の居場所確保が期待されます。

また、子どもが集団としてま  
とまりを持って生活できる人数  
として適当といわれる、40人程  
度での運営も可能になると期待  
しています。

予算 **3,200**万円



## 総務費

## 無人化となった 駅舎の有効活用を図る

### 後閑駅舎活用事業



写真提供・渋川市

渋川市の放課後自習室(愛称:すたでいばんく)

無人化となった駅舎の一部  
を改修し、学習室を整備します。  
利用開始は令和3年度中の予定  
です。運営方法はメイン利用者  
に想定する高校生のニーズに合  
うよう、今後検討されます。

また、施設がJR渋川駅に近  
いため、電車通学の生徒が待ち  
時間に利用したり、自宅より集  
中できるとして利用する生徒が  
増えているそうです。

渋川市が開設した自習室「す  
たでいばんく」は、利用者の意  
見や要望を取り入れ、使い勝手  
の向上に努めているそうです。

町でも駅利用者の大半を占  
める高校生の声に耳を傾け、満  
足度の高い施設となるよう期待  
します。

予算 **3,462**万円



# 3月 議会 あらまし

## 本会議審議内容及び結果

3日から13日までの会期中3月定例議会を開いた。人事2件、条例29件、その他8件、補正6件（6頁）、予算6件を議決した。一般質問は7人であった（8～15頁）。

### 議会の流れ

3月3日 本会議

一般質問

3月4日 本会議

一般質問

議会全員協議会

3月5日

予算連合審査会

3月6～10日 常任委員会

総務文教常任委員会

厚生常任委員会

産業観光常任委員会

3月11日 特別委員会

議会だより編集特別委員会

3月12日

議会全員協議会

3月13日 本会議

当初予算



### 人事に同意

次の方の人事案に同意した。

。教育委員会委員

登坂 季子氏（上牧）

。副町長

宮崎 育雄氏（新巻）



### 区長業務

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律により、区

長職が特別職非常勤職員ではなくなることから、報酬や任用などの定めの一部を改正し、業務委託を行う際の職務内容等を見直すための改正。

**質** 区長へ業務についての説明は。

**答** 毎年4月に説明している。町民と町当局を結ぶのが区長であり、十分に理解をしてもらい進めていきたい。

### 山岳資料館（湯原）

谷川岳インフォメーションセンター新築に伴い、山岳資料館の機能をセンターへ移し閉館することから条例を廃止する。

**質** 閉館後の施設利用は。

**答** 施設は地域の方々と、他の目的での活用を検討する。

### 補正

#### 一般会計

総額 144億8600万円

補正額 362万円

#### 歳入

△はマイナス（端数処理あり）

地方交付税	1億8430万円
国庫支出金	△3093万円
県支出金	5894万円
ふるさと寄附金	6000万円
その他	△2億6869万円

#### 歳出

△はマイナス（端数処理あり）

ふるさと応援基金管理事業	5000万円
プレミアム付き商品券事業	△6843万円
みなかみ・水・「環境力」基金管理事業	1000万円
災害時等代替庁舎駐車場整備事業	2250万円
社会体育施設ナイター照明LED化改修事業	△1500万円
その他	455万円



※1

指定管理…普通地方公共団体が公の施設設置の目的を効果的に達成するために、施設の管理を行う必要があると認め、その管理を指定された団体が行う。



新治学童クラブの指定管理料が未定なのは。



子育て健康課長  
指定管理料は利用者数によるので、利用者を募集した後に決定する。



他学童クラブの実績から金額を設定できないのか。



総合戦略課長  
金額については、今までの学童クラブも同様に国の基準に従った単価に合わせているので、自由に増減していることはない。



施設名称	指定管理者	指定期間
みなかみ町 新治学童クラブ	有限会社 遊人舎	令和2年4月1日から 令和5年3月31日まで
みなかみ町立 水上児童館	社会福祉法人 みなかみ町社会福祉協議会	令和2年4月1日から 令和5年3月31日まで



請願2号は、必要性を認めながらも設置形態やその方法等は研究の余地があるとの意見から継続審査となった。

## 請願・陳情結果表

	請願・陳情件名	請願人・陳情人	付託委員会及び審査結果	本会議審査結果
請願	第1号 請願書 ※上毛高原駅前交番存続の働きかけについて。	月夜野 2842-3 上組区長 阿部 康 他 11 名	総務文教常任委員会 採択すべきもの	全会一致 採択
	第2号 みなかみ町地域活動支援センターの再設置について	月夜野 3274-2 みなかみ町手をつなぐ親の会 会長 原澤 誠	厚生常任委員会 継続審査	全会一致 継続審査
陳情	第1号 若い人も高齢者も安心できる全額国庫負担の最低保障年金制度創設を政府に求める陳情	前橋市樋越町 183-4 全日本年金者組合群馬県本部 執行委員長代行 女屋 定俊	厚生常任委員会 不採択すべきもの	全会一致 不採択
	第2号 年金支給の隔月支給を毎月支給に改める陳情	前橋市樋越町 183-4 全日本年金者組合群馬県本部 執行委員長代行 女屋 定俊	厚生常任委員会 不採択すべきもの	全会一致 不採択
	第3号 上毛高原駅前交番存続を求める陳情書	みなかみ町商工会 会長 入内島 一崇	総務文教常任委員会 採択すべきもの	全会一致 採択

# 3月定例議会議案の内容及び議決結果

	議案番号	議案内容	議決結果	
人 事	議案第 1 号	教育委員会委員の任命	全会一致可決	
損害賠償	議案第 2 号	損害賠償の額の決定及び和解	全会一致可決	
条 例 他	議案第 3 号	課設置条例の一部を改正する条例	全会一致可決	
	議案第 4 号	固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	全会一致可決	
	議案第 5 号	水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	全会一致可決	
	議案第 6 号	監査委員条例の一部を改正する条例	全会一致可決	
	議案第 7 号	群馬県市町村公平委員会の共同設置	全会一致可決	
	議案第 8 号	公平委員会設置条例を廃止する条例	全会一致可決	
	議案第 9 号	職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例	全会一致可決	
	議案第 10 号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	全会一致可決	
	議案第 11 号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	全会一致可決	
	議案第 12 号	区の設置及び組織に関する条例の一部を改正する条例	全会一致可決	
	議案第 13 号	交通安全条例の一部を改正する条例	全会一致可決	
	議案第 14 号	交通指導員設置条例を廃止する条例	全会一致可決	
	議案第 15 号	森林環境譲与税基金条例の制定	全会一致可決	
	議案第 16 号	山岳資料館条例を廃止する条例	全会一致可決	
	議案第 17 号	国民健康保険税条例の一部を改正する条例	全会一致可決	
	議案第 18 号	印鑑条例の一部を改正する条例	全会一致可決	
	議案第 19 号	老人福祉センター条例を廃止する条例	全会一致可決	
	議案第 20 号	福祉センター条例を廃止する条例	全会一致可決	
	議案第 21 号	通所介護事業所条例を廃止する条例	全会一致可決	
	議案第 22 号	放課後児童クラブ設置及び運営等に関する条例の一部を改正する条例	全会一致可決	
	議案第 23 号	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	全会一致可決	
	議案第 24 号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	全会一致可決	
	議案第 25 号	火葬場条例の一部を改正する条例	全会一致可決	
	議案第 26 号	下水道条例の一部を改正する条例	全会一致可決	
	議案第 27 号	水道事業給水条例の一部を改正する条例	全会一致可決	
	議案第 28 号	小口資金融資促進条例の一部を改正する条例	全会一致可決	
	議案第 29 号	町営住宅管理条例等の一部を改正する条例	全会一致可決	
	議案第 30 号	空家等対策協議会設置条例の制定	全会一致可決	
	議案第 31 号	町立学校設置条例の一部を改正する条例	全会一致可決	
	指定管理 その 他	議案第 32 号	指定管理者の指定（みなかみ町新治学童クラブ）	賛成多数可決
		議案第 33 号	指定管理者の指定（みなかみ町立水上児童館）	全会一致可決
議案第 34 号		過疎地域自立促進計画の一部変更	全会一致可決	
議案第 35 号		行政財産の一部無償貸付	全会一致可決	
議案第 36 号		町道路線廃止	全会一致可決	
議案第 37 号		町道路線認定	全会一致可決	
補正予算	議案第 38 号	一般会計補正予算	全会一致可決	
	議案第 39 号	国民健康保険特別会計補正予算	全会一致可決	
	議案第 40 号	後期高齢者医療特別会計補正予算	全会一致可決	
	議案第 41 号	介護保険特別会計補正予算	全会一致可決	
	議案第 42 号	下水道事業特別会計補正予算	全会一致可決	
	議案第 43 号	水道事業会計補正予算	全会一致可決	
新年度予算	議案第 44 号	一般会計予算	全会一致可決	
	議案第 45 号	国民健康保険特別会計予算	全会一致可決	
	議案第 46 号	後期高齢者医療特別会計予算	全会一致可決	
	議案第 47 号	介護保険特別会計予算	全会一致可決	
	議案第 48 号	下水道事業特別会計予算	全会一致可決	
	議案第 49 号	水道事業会計予算	全会一致可決	
人 事	議案第 50 号	副町長の選任	全会一致可決	
条 例	議案第 51 号	生活管理短期宿泊事業費用徴収条例の一部を改正する条例	全会一致可決	



委員会

# 予算連合審査会内容

3月5日に3常任委員会合同の「連合審査会」を開催した。本会議で予算審議を行うために、審査会において質疑応答で詳細を審査する目的がある。審査会では全会一致で認定すべきものとされ、委員長が本会議で報告を行うこととした。

## 歳入

**質** 公共用財産使用収入。自動販売機設置収入は設置時のみのものか。入札方法か。

**答** 本庁舎設置機は売上の一部が歳入になる。今後の設置は公募等考えていく。

## 歳出

**質** 花火大会の予算がないが。

**答** 東京オリンピック・パラリンピック開催の関係で令和2年度は見送る。令和3年度以降は今後検討する。

**質** 学童クラブ整備事業、場所は。令和2年度中に完了するののか。

**答** テレワークセンター（旧月夜野幼稚園）内。要望の多い事業なので令和2年度中に完了し、3年度から受け入れるようにしたい。

**質** 農産物輸出支援、他市町村との連携は。GAP認証の支援は。

※1 GAP認証…農業生産工程管理（GAP）の第三者認証制度。

**答** 令和元年度は、県ブランド推進課が中心となり試験的にリングの輸出をしたが他市町村と直接の連携はしていない。地域に合ったGAPシートの作成を県に要望している。

**質** 消防団詰所維持管理、消防タンク車凍結防止ヒーターの電気料金を負担している区がある。

る。町の負担にすべきでは。

**答** 調査して検討する。

**質** 防災無線整備は喫緊の課題、今後の方向性は。

**答** 協議しながら早期実施したい。

**質** 小学校での英語・プログラミング教育、教員の研修予算は。

**答** 町で研修するのは難しいので、県主催の研修を活用してもらおう。

## 国民健康保険特別会計

**質** 基金の残高と今後は。

**答** 残高は約5.3億円。基金を確保しながら負担増にならないよう安定的に運用したい。

## 後期高齢者医療特別会計

**質** 令和元年度比5.3%増の理由は。

**答** 被保険者数増に伴う医療費増を見込んでいる。

# 町政を問う

## 一般質問

## Questions

### 一般質問とは

議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるもの。

執行機関の政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明確にさせたり、結果として、現行の政策を変更、是正させあるいは新規の政策を採用させるなどの目的と効果がある。

定例会のみで行われ、現在、みなかみ町議会での一般質問の時間は、一人50分までとなっている。

## 事前通告一覧

**阿部 賢一** あべ けんいち  
①畜産振興

**窪田 金嘉** くぼた かねよし  
①町民の幸福度は

**石坂 武** いしざか たけし

①湯原地区公共施設最適化事業の取り組み  
②民法一部改正による成人式の取り組み

**鈴木 美香** すずき みか

①町職員数の削減と働き方  
②来庁者への接遇改善  
③みなかみ・水・「環境力」宣言のこれまでと今後の取り組み

**高橋 久美子** たかはし くみこ

①共生の町づくり

**茂木 法志** もぎ のりゆき

①ユネスコエコパーク登録から4年目の活動  
②SDGs未来都市認定後の取り組み  
③ローカルベンチャー育成事業の取り組み  
④みなかみ町の起業支援とその後のサポート  
⑤後閑駅の利活用  
⑥町内遊具の設置

**高橋 市郎** たかはし いちろう

①人事評価制度と人材育成  
②町の公共図書館施設



広大な飼料用作物の畑。手前の白いかたまりは牧草等をラップで包み発酵させているもの。冬期間などの牛の餌になります。



阿部 賢一 議員

## 畜産振興についての考えは

町長

優良牛生産で市場の活性化を図りたい

**問**

町の和牛は市場で高い評価を受けている。平均取引価格より高く取引され、頭数も約1割(県内)を占めている。ゲノミック検査(評価)・受精卵移植に158万円の予算が計上されたことは大変歓迎される。高度な牛群の整備が期待できる。そこで畜産振興についての考えは。

**答**

町長

町の農業の基幹産業となっている。地域のブランド価値を高める上でも伝統種保存を重視しながら、ゲノミック評価を考慮して、評価の高い雌牛は繁殖用として保留するなど、優良牛生産による市場の活性化を図るべく、令和2年

※1

ゲノミック評価とは従来の育種価にDNA情報を加えた遺伝子的能力を評価する技術。

**問**

度より生産振興対策事業としてゲノミック検査、受精卵移植手数料等を支援していく。

**答**

町長

遊休農地を草地化して使っていたのは有効な手段だ。町が率先して土地の集約をし、使って頂ける方を見つけ整備していくことは非常に大切だ。生ゴミの処理も今の方法がよい。今後も推進していきたい。

**答**

町長

議論はしていきたいが、なかなか新しい制度に結びついていない。酪農家・繁殖牛農家の人が何を支援してほしいか一緒に考えていきたい。

**問**

畜産振興をするならば今だとと思うが。

**答**

町長

農業委員会が座談会を予定している。意見を聞き、町として対応できるものがあれば取り入れていきたい。いろいろな提言を頂き、町が手伝えるものについてはやっていきたいと思っている。

**問**

目先だけではなく長く続けてもらうための町独自の支援策は。



窪田 金嘉 議員

## 町民の幸福度は

### 町長 町民の不平や不満がない状態が理想

**問** 平成大合併の合併特例措置の特典である行政サービス(恩恵)を町民は受けてきたか。

**答** 町長 町の行政サービスの充実・拡充の財源として活用。公共施設の整備運営等の間接的サービスを提供。

**問** 町民が幸せになる行政サービスとはどういうような形か、どうすれば町民が幸せを実感できるのか。

**答** 町長 同じ環境にいても個人の考え方によって感じ方は違う。単純に対策を行えないというのが今の認識。不平不満の早期解消を図り、新たな事案は発生させないことが重要と感じている。

**問** 町民の幸福度が増す施策を練っていただきたいが。

**答** 町長 特に若者に限った施策としてはやっていない。

**問** 新幹線を使って、都内に通学、通勤している人には補助等行っている。

**答** 町長 町民の年収は、群馬県の35市町村中何番目。全国で1741の中で何番目。

**問** 総務省の資料により、課税対象所得の総額を所得割を納める納税義務者数で除した数値を計算すると、県内で35市町村中30位。全国1741市町村中1498位。

**問** 町民の47%が月20万円以下で生活している。結婚も出産も夢のまた夢。若者は、所得の低い町には住みたくないのでは。

**答** 町長 町は川場村・昭和村より所得が低く、片品村は月8千円しか変わらないが、川場村、昭和村、片品村の村民年収は、群馬県

**問** 若者の教育費と収入の関係が教育格差を生む。

**答** 町長 国の施策でやってもらわないと、国民に恩恵はない。町単独は不可能。

**問** 若者の所得増の施策はあるか。

**答** 町長 特に若者ということではないが、人口増につながるように今後もやっていきたい。

**問** 高齢者の所得増の施策はあるか。

**答** 町長 高齢者の生きがいに繋がる施策は、これからもやっていかなければいけない。

**問** 町は川場村・昭和村より所得が低く、片品村は月8千円しか変わらないが、川場村、昭和村、片品村の村民年収は、群馬県

**答** 町長 町には対応する制度はないため、算出できない。

**問** 1人当たりの生涯を通じた純受益額又は純負担額を世代別に算出したものが世代会計と

**答** 町長 町の世代会計の数値は。

**問** 今の仕組みの中では算出が不可能。

**答** 町長 今のは対応する制度はないため、算出できない。



石坂 武 議員

# 湯原地区公共施設最適化事業の進展は

## 町長 皆さんの理解をいただき進めたい

**問** 湯原公共施設最適化事業について、事業の背景・事業概要について伺う。

**答** 町長 公共施設等の適正配置等を指すものであり、湯原地区においては、観光会館や社会体育館等目的別に複数の施設が設置されている地域のため、町における適正配置を進めるモデル事業として検討している。

**問** 令和元年度当初予算の概要版に、施策別の主要事業として取り上げているが、見解は。

**答** 町長 各施設がかなり建設から年数が経過しているため、早急に進めるべきと判断し、新規事業として概要版に載せた。

**問** 令和元年度中に組織するはずの関係者による検討委員会の設置等、進捗状況は。

**答** 町長 既に検討委員会は組織しているが、適切な議論をお願いするための前提となる課題等の整理に時間を要している段階で、ワーキンググループの開催に至っていない。

**問** 主要事業であるこの事業、令和2年度に予算計上がないのは何故か。

**答** 町長 令和元年度の予算を繰り越して進める予定でいる。

**問** 支所・公民館・社会体育館・観光会館等々は、モデル事業としての注目度・関心度は非常に高い。この事業について、予定通りに進んでいないので説明が必要では。

**答** 町長 順次説明をしていきたい。なかなか計画どおり進まないこと

が多いが、皆さんの理解をいただき進めたい。

民法一部改正による成人式の取り組み

**問** 成人式をどう捉えているか。

**答** 教育長 大人としての自覚と責任を一層強く持って、生きてほしいという思いを込めて行っている。

**問** 成年年齢が18歳に引き下げられる民法改正が、2022年4月1日から施行されるが、町としての成人式の考え方は。

**答** 教育長 今現在では20歳で行うのがよいのではと考えている。

**問** 18歳で成人式ということになると、受験や就職という時期と重なる。その点はどうか。

**答** 教育長 18歳になる年度は、大学受験や就職準備など将来に向け大事な時期であり、落ち着いた環境の中での成人式は難しいと考えている。

**問** 女子は、相当前より、晴れ着等準備の時間が必要になる。その点はどうか。

**答** 教育長 美容院の予約や衣装を1年以上前から準備している方も多くと聞く。町として令和元年度内に実施方法を決定する。





鈴木 美香 議員

## 来庁者への接遇改善を

町長 謙虚に受け止める

**問** 挨拶しない。困っていても声掛けしない。名札を付けていない。等々、役場窓口の接遇が常々いわれている。

**答** もしもナイフなどの刃物、ガソリンや灯油、発火物など危険物を所持した人が来たときに目が行き届かないと対応が遅れる。他の来庁者はもちろん、町職員の命の安全を守る為にも、まずは上司から来庁者への声掛けが必要では。

**問** 行政は町の最大サービス業。職員に対してさらなる指導周知を行っていききたい。

**答** HPにご意見、お問い合わせを書き込む場所が無いが。

**答** 総合戦略課長 整備を進めている。

### 職員数の削減と働き方

**問** 少子化による急速な人口減少と高齢化が進む中、今後さらに公共福祉の増進、住民サービスの向上を生み出せる職員が必要。合併に伴う行政改革としての定員管理による町職員数の増減と目的は、最小の経費で最大の効果を上げるといふことか。

**答** 当時の職員数385人から現在227人。そういう考えでよい。

**問** 人件費を考えれば、若手を増やす意味でも、再任用雇用は、管理職手当が必要のない短時間アドバイザー的なもので、後進を育てるべき。管理職再任用と

いうのは。

**答** 再任用希望の中で課長職経験など能力ある方々に町の重要課題に取り組んでいただく。

**問** イベントが多い町として、長時間、または2・3時間の仕事を町民にアウトソーシングして少しでも収入を得て、働きがいを見つけることができる仕組みづくりは。

**答** イベントが多い町として、長時間、または2・3時間の仕事を町民にアウトソーシングして少しでも収入を得て、働きがいを見つけることができる仕組みづくりは。

**答** 町長 行政改革の一環として取り組んでいる。



### 『環境力』宣言の取り組み

**問** 推進プラン策定から10年が過ぎ、施策や課題を振り返り、さらに具現化していくために、今後どう活かしていくのか再考する時期が来ているのでは。

**答** 環境力宣言はユネスコエコパーク登録に繋がった。今後、社会情勢に合わせて必要な見直しを検討する。

**問** ユネスコエコパークやSDGs未来都市のアピールや理解を得るための手段として町民向けのシンポジウムや学習会の開催が有効では。

**答** 町長 有効だと思うが、まずはプランができた時点で町民に説明し理解していただきたい。



高橋久美子 議員

# 「誰も置き去りにしない」との理念の浸透を

## 町長 各種政策SDGsとの関係性を可視化

**問** 町民の生活や考えの多様化、少子高齢化の課題等は行政側だけの取り組みで解決できない。今こそ地域住民の連携や行政と町民が連携し、共に生きる、共生社会の構築が大事。共生のまちづくりに、SDGsの取り組みは必要な政策。2030年がSDGsのゴールとされている。「誰も置き去りにしない」との理念のもと、10年後の町のありたい姿は。

**問** SDGsに取り組む本気度を内外に示めすことが必要。SDGs戦略室の設置を提案したいが。

**問** 里山を中心とした取り組みのシンボルとして、ユネスコエコパークの登録記念日に町民全員それぞれの立場で、無理のないところでゴミ拾いをするなど、一体感を持って取り組む試みについては。川もプラスチックごみに汚染されているだろうといわれている。水源の町として、早急に対処しなければならぬ課題とかが。

**答** 町長 今後の推移を見ながら考えていきたい。

**答** 町長 まちづくりは人づくりと違う。町民参加のまちづくりが重要。SDGsの取り組みからのまちづくりをどのように考えるか。

**答** 町長 若い人から理解して貰うのは大変重要。いろいろな意味で後継者不足が出来る。意欲をもって取り組みたいという若い人もいると思う。どういった支援が出来るかを考えていきたい。

**答** 町長 美しい自然と里地里山を核として、観光・商工業・農林業・教育・健康福祉・エネルギーなどそれぞれ横断的かつ有機的に連携し、地域を経営する観点で相乗効果を創出。人と自然が共生し持続可能なまちを目指したい。

**答** 町長 何かイベントをとということ、よい提案だと思う。早急に検討したい。プラスチックごみに限らず、ごみ全体の仕組みも考えないといけない時期。緊急の課題の認識は持っている。当然町民の皆さんにも協力して貰わないとできないことが多いと思う。どういったことが出来るか検討したい。

**答** 町長 他にこんな質問もしました



- ・企業・団体等との見守りや災害時などの連携
- ・高齢者の移動手段の確保
- ・地域おこし協力隊の取り組みと今後の課題



茂木 法志 議員

## 起業支援事業補助金について

町長 制度をより活用しやすくしたい

**問** 起業支援事業補助金の利用数は。

**答** 町長 平成27年度が2件、平成29・30年度各3件、令和元年度は2件。

雇用条件を満たした場合は上限100万円、雇用保険未加入の場合は上限を半額の50万円、雇用者がいない場合は上限を30万円とする見直しを考えている。

### ユネスコエコパーク

**問** エコパーク推進に対する組織を拡充し、更なる推進活動が必要と考える。

**答** 町長 町長が考えるエコパーク推進プラン、未来ビジョンは。みなかみユネスコエコパーク推進委員会を組織し、具体的な

推進プランを作成する。

ユネスコエコパークの理念をまちづくりを生かすための活動、町全体で横断的に取り組むための道しるべとなるよう検討したい。

**問** 文部科学省の学習要綱の中に初めて学ぶ先生方に対してESDの大切さや学校でのESDの具体的な実践方法などを伝える研修を学校全体の取り組みとして進めるとある。

先生方に対する意識付けや研修の取り組みに対する考えは。

※1 ESD…持続可能な社会づくりの担い手を育む教育。

**答** 教育長 それに特化した研修はしていない。

ESDの推進拠点となるユネスコスクールに登録することで、ネットワークを通じて大学等の支

援が受けられる。

今後は適宜要請をしていければと考えている。

**SDGs 未来都市認定後の取り組み**

**問** SDGsを浸透させる方法として、SDGsファシリテーターの協力が考えられる。その重要性については。

**答** 町長 SDGsの理念を広める、非常に重要な事だと思う。

**問** ファシリテーターの資格取得の受講費用負担や町主催のSDGsカードゲームの開催なども考えられるのでは。

**答** 町長 調査研究して町民の方が負担なく資格を取得できるように仕

組みを考えていければと思う。

### 後閑駅の利活用

**問** 後閑駅の利活用について新年度の具体的な事業内容は。

**答** 町長 高校生等の学習室としての活用を提示して協議を進めていく。

今後、先進地の事例とか学生たちの意見を基に関係者と共に運営方法を検討し、利用者目線に立った愛着の持てる施設となるよう進めていきたい。





高橋 市郎 議員

# 人事評価と人材育成は

## 町長 指導・育成することが重要

### 問

町は行政改革により一人一人の業務が多く、さらには高度化・多様化している。それぞれの職員の能力を発揮し仕事をすることが求められ、人事評価制度を人材育成に資することであると考えるが、その取り組みは。

### 答

町長

人事評価は、人が人を評価すると捉えがちであるが人材育成のための評価であり、職員自らが目指す職員像や組織として求められる意識・姿勢・能力・行動、これを明確にして指導・育成することが重要であるという考えのもとに人材育成に取り組んでいる。

### 問

現在の行政において職員の企画立案・交渉力が必要と思われる。たとえば「ふるさと納税」など地域間の知恵くらべのようなことがあるがその取り組みは。

### 答

町長

時代は動いている。スピード感を持って対応するには、働く職員が同じ方向を向いて同じ考えで進まなければ目的は達成できない。やはり人材育成をしていくことが大切である。

### 問

ストレス社会といわれる現代、職員に対してのメンタルサポート体制はどのようなものになっているか。

### 答

町長

人事評価の中で年3回面談をしている。その中で職員の不安に思っている事を上司が聞き、解決するアドバイスをしている。研修も実施している。

### 町の公共図書施設について

### 問

社会教育委員会より「みなかみ町の实情に沿った公共図書施設のあるべき姿について」の提言が平成28年になされているがその取り組みについて。

### 答

教育長

大きく5つの提言をいただいている。

町民の図書室利用促進の提案と捉え取り組んできた。財源の必要なものはまだだが、スペースの有効活用や町民への広報による利用



中央公民館図書室。直木賞受賞作など話題の図書がそろっています。

促進など工夫を重ね実施し、カルチャーセンターの児童図書室は千人前後の利用だったのが平成30年度では5千人と大幅に増えている。新着図書の案内を広報するなどして各図書室利用者も年々増えている現状である。



## 町の お宝紹介

素晴らしいこの町を町民の皆さんと一緒に大切にしていきたいため、議会発で町にある「お宝」を再確認する「コーナー」です。「この町には、いろいろある。何もな〜いかな〜。」このコーナーでは、皆さんからの情報もお待ちしております。町のお宝をご存じの方は是非ご一報ください。



須川地区から見た仙ノ倉山

# 仙ノ倉山の残雪

せんのくらやま

春、残雪や雪解けの山肌に見え、昔の農家は山を仰ぎ見て、残雪等の形により種をまいたり、苗代をつくったりしたそうです。編集アドバイザーの利根川太郎氏に詳しく伺いました。

雪と雪の間の山肌が、西を向き手に何かを持ち、膝を曲げ、帽子をかぶって立っているような姿に見える。この姿をした山肌が「豆まき入道」といわれ、「そろそろ豆まきの時期だぞ！」と里人に告

仙ノ倉山(2026m)は上信越国立公園内にあり、三国山から東に尾根を歩き、大源太山、平標山の次の山である。仙ノ倉山は東西に2つの頂をもつ。東側の嶺の東斜面の残雪によって人の姿を思わせる山肌が現われる。これを仙ノ倉山の「豆まき入道」といい、西側の嶺の残雪を「七人衆」と呼び、里人は農事暦としてきた。

## 豆まき入道

東嶺の中間付近に大きな残雪が現れているのを見ることが



げにやってくると古来より言い伝えられてきた。

また、帽子の上の残雪のかたまりが里からみて大豆の大きさに見える時が、豆まきに最適な時期であるとされてきた。その豆粒大の残雪が消えると豆まきには遅いとされてきた。

## 七人衆

西の嶺の中段から下に7人の姿



をした早乙女の形が見える。これを「七人衆」とか「七人型」と呼んでいる。東の嶺に出る「豆まき入道」を向いているような人の姿の残雪が描き出される。みんなで並んで田植えをしているようにも見える。里の人々はこの姿が現れはじめて、苗代の準備に入る。そして、この姿が消える頃になると里のあちこちで田植えが行われる。

暦がなかった時代、自然の力を借りて農作業に携わってきた人間の知恵に頭が下がる。

# ふるさとクイズ



仙ノ倉山に現れる入道は？

- A たこ入道       B 豆まき入道  
 C 大入道

前回の議会だより 61 号ふるさとクイズの正解は「A 上津」でした。

- ★この頁は町民皆様にご参加いただく頁です。以下を参考にふるってご参加下さい。
- ★正解者には抽選で若干名様に粗品を進呈いたします。

## 参加のきまり

下のハガキまたは、裏面の FAX 用紙などに、クイズの答え・住所・氏名・議会への伝言を記入し、お送りください。  
 ※下のハガキは、裏面を記入後に必ずのり付けをして投函ください。

〒379-1393 群馬県利根郡みなかみ町後閑 318  
 みなかみ議会だより  
 「ふるさとクイズ・ご意見」係  
**締切：2020年5月31日（当日消印有効）**  
 ※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

379-1390

群馬県利根郡みなかみ町後閑三一八

みなかみ議会だより

「ふるさとクイズ・ご意見」係

料金受取人払郵便  
 沼田局承認  
 798  
 差出有効期間  
 2021年3月  
 31日まで  
 (切手不要)

— 記入欄は裏面にあります —

山折り線



春のみなかみ（フォトコンテストより）



皆さんの  
おたより

ハガキの方は、この線で切り取り

内側へ貼り合わせて投函してください。

← FAXの方は、この線で切り取ってご利用下さい。

FAX番号 0278-25-8127



○クイズの答え ⇨ \_\_\_\_\_

○差出人住所 ⇨ 〒 \_\_\_\_\_

(ふりがな)  
○差出人氏名 ⇨ \_\_\_\_\_

○年 代 ⇨ ・ ~10代      ・ 20代      ・ 30代  
(該当項目に○印を  
付けてください)      ・ 40~60代      ・ 70代~

-----谷-折-り-線-----

○議会への伝言

の  
り  
し  
ろ

の  
り  
し  
ろ

のりしろ

よからした 声

### 議会傍聴のご案内

傍聴は、どなたでもできます。ただし、当日に議場入口で受付を済ませてからご入場ください。

…………… 流れ ……………

- ①受付にて「受付表記入（住所・電話番号・氏名・年齢）」
- ②受付表を係に渡して「傍聴カード」を受け取る
- ③傍聴席へ
- ④帰りに「傍聴カード」を返却箱へ入れて終了

※注意／飲食・録画・録音・写真撮影は禁止。

次回の定例会は

**6月 2日（火）～  
6月 12日（金）の予定。**

場所：役場本庁舎3階議場

時間：開会は9時

席数：34席

【問合せ先】議会事務局  
☎25 - 5023

70代  
高齢者の引きこもりに  
ついて一言。交通機関と  
場所の問題かなど。広  
ざる町だから催し物のあ  
るところは遠すぎる。  
(網子)



70代  
議会だよりが読  
みやすく分かりや  
すくなってきたい  
ると思う。一番よいと思  
つたのは移住・定住シリ  
ーズです。嬉しいことです。  
(師)



70代  
一般質問はいつも  
する人とほとんどし  
ない人がいるよう  
だ。一年間で全議員が質問  
すれば、一人一人の考えや思  
いが分かり、また政策にも  
反映するのではないかと  
思う。  
(東峰)



〈顔マーク 利根商生 作〉

## 編集モータルアドバイス 利根商総合ビジネス部

・61号の定例会ページについて。「質」「答」のアイコンを一般質問と同じにして統一感をもたせてはどうか。定例会ページの「質」「答」はインパクトが弱い。おとなしくしているのか。

61号はアイコンの使い方についてアドバイスを頂きました。定例会ページの「質」「答」は小さくしています。アイコンが目立ちすぎたので、大きさや色合いを調整しています。全体の統一感は大切ですが、各ページの見やすさも大切。どちらを優先するか悩むところです。

### 発言の訂正がありました

61号11頁上段11行目町長の答弁、「自己負担費用は1200円」を「自己負担費用は3000円」と訂正されました。

### 議会だより編集特別委員会

- 委員長…森 健治  
副委員長…高橋久美子  
委員…鈴木 美香・阿部 清  
窪田 金嘉・本多 公保  
中島 信義  
編集アドバイザー  
利根川太郎  
編集モニター  
利根商業高等学校生徒



### 群馬県町村議会 議長会10年表彰

中島信義副議長が群馬県町村議会議長会より在職10年表彰を受けました。引き続き町づくりにご尽力くださるようお願いいたします。



# ほづよご田舎

はたの  
**畠野** 剛さん 48歳(上組区)

ゆか  
**由佳** さん 37歳

夫の剛さんは新潟県の生まれ。東京のコンピュータ関係の会社へお勤めです。妻の由佳さんは千葉県出身。移住され林業や自然の散策など、町での生活を楽しんでいるご夫婦を紹介します。

## ——町を知ったきっかけ

地方暮らしやUターン・Iターン、地域との交流を深めたい人をサポートする「ふるさと帰郷支援センター」で担当者(一押し)と紹介された。県の移住ツアーにも参加した。



移住・定住シリーズ②③



畠野さんご一家

## ——なぜ、移住を?

子どもを授かったことを機に、子育てのより良い環境を求めた。移住前に住環境などを調べに町を訪れたところ、町の方にとても親切にしてもらった。また実家(新潟県)と勤務地である東京に近いので「こころい」かない」と思った。

## ——町の印象は

子育てをするうえで理想的。年配の方がオープンで優しく、子どもを大切にしてくれる。安心して過ごせる、ほづよご田舎と思う。

## ——住んで良かったことは?

その先がイメージできる研修への誘いがあった。チェンソーを使ったこともなかったが町主催の林業研修で学び、自宅ストープで使用する薪は100%地元産。それを運搬するために軽トラックも購入した。

## ——お困りのことは?

特になし。冬は寒いと聞いていたが、それほどでもない。

## ——抱負は?

十分楽しみなが生活している。今まで以上に楽しみなが、こころい



ぼくが移住のきっかけ。虫取り・山歩き・やることいっぱい!

## ——できないことをしていきたい。

コンピュータの仕事をしているので、農業のちよつとしたシステムを作ることを考えた。野菜を分けてもらっているのでお返ししたい。

## ——提案されたいことは?

WiFiが使える仕事ができるという日帰り温泉施設へ行ってみた。WiFiは使えるが仕事ができる仕様ではなかった。狭くてもよいので集中して仕事ができる施設を作ってほしい。温泉+テレワークは魅力あり。

## ——議会に一言

議員に会うことがなかった。顔が分かる関係も広がる。

## ——町民へのメッセージ

住み始める前から親切にしてもらった。感謝、感謝です。

## 編集後記

例年のない雪不足と世界に広がる新型コロナウイルスの影響。

町内の主要産業である観光業への大打撃はもちろん、イベントや活動の自粛、小中学校の休業と、今までに類をみない日々が続いています。出口の見えない不安は、冷静な判断をも脅かしてしまいます。そのような中で、大事なものは正しい情報の共有、自己防衛、感染防止に尽きます。

突然の休校措置の中、町内各学校の式典が規模縮小という形ながらも、無事執り行われました。

対策が功を奏し、早期にこの混乱が収束することを心から願わずにはいられません。

(鈴木美香)

